2011 年 11 月 14 日
三菱電機株式会社
日本電能株式会社

三菱電機と日本電能が自動化ソリューションにおける協業に合意

三菱電機株式会社（本社：東京都千代田区、執行役社長：山西 健一郎、以下三菱電機）と日本電能株式会社（本社：横浜、代表取締役社長：浦野 聖人、以下日本電能）は、三菱電機のシーケンサ MELSEC-Q シリーズを活用した各種製造自動化ソリューションの製品連携と営業連携に合意しました。

なお、本ソリューションは東京ビッグサイトで 11 月 16 日から 11 月 18 日に開催される「システムコントロールフェア」の三菱電機ブース及び幕張メッセで 12 月 7 日から 12 月 9 日に開催される「セミコン・ジャパン 2011」の日本電能ブースで展示します。

協業の概要

・各種ソフトウエア開発に実績のある日本電能が信頼と実績のある三菱電機製シーケンサをベースに、自動化ソリューションを開発
・国内製造業に多くの販路を持つ三菱電機が、日本電能の自動化ソリューションを幅広く推奨し日本電能と合同で提案活動を実施
・半導体・FPD（Flat Panel Display）・LED・太陽光分野に加えて、新たに自動車・食品業界等での自動化ソリューションのユーザニーズの発掘

各自動化ソリューション・製品の特長

・<u>オンライン化ソリューション</u>
日本電能の Cyber Operator により、装置自体を改造せずに装置の自動化を図り、省人化を図ります
・<u>SECS 通信ソリューション</u>
日本電能の CIMOPERATOR により、パソコンレス、プログラムレスで SECS 通信※1を実現し、コスト削減を図ります
※1：SECS は、"SEMI Equipment Communications Standard"の略称で、半導体業界で使用される通信プロトコル

・<u>データ収集ソリューション</u>
日本電能の CIMSNIPER により、製造装置から製造情報を取得し、製造ライン・機械装置の改造なしで見える化を図ります

※各種ソリューションは三菱電機シーケンサ MELSEC-Q シリーズ C 言語コントローラーがプラットフォームになります

協業の背景と効果

FPD や半導体、自動車をはじめとする製造現場では、多くの場合、人手による操作で生産ラインや製造装置を動かして製品を生産し、その製造データの収集を行っております。そのため、人為的な操作ミスに伴う製品の破損・欠損、製品品質の低下、装置稼働率の低下などを招く場合があります。しかし、既に工場で稼働している製造装置の改造なしに自動化に対応することは難しく、システム構築コストが課題となっております。さらに、半導体製造分野における自動化システム構築には、業界の標準的な通信規格である SECS 通信に対応する必要があり、パソコンをベースとしたシステムになるため、保守・メンテナンス面におけるコストアップも課題となります。

そこで、三菱電機と日本電能は、自動化･情報収集システム構築への課題解決のため、汎用性･信頼性･耐環境性に優れた三菱電機製シーケンサである MELSEC-Q シリーズ C 言語コントローラーを活用した新たな自動化ソリューションの協業に合意しました。

これにより、両社による製品連携・営業連携強化を図り、きめ細かなソリューションの提案とサポート活動を展開することで各種自動化・効率化を提案していきます。

＜本件に関するお客様からのお問い合わせ先＞

三菱電機　機器計画部
TEL 03-3218-6610　FAX 03-3218-6823

日本電能　システムソリューション部　製品サポート課
TEL 045-476-0160　FAX 045-476-0169

＜本件に関する報道関係からのお問い合わせ先＞

三菱電機　広報部
TEL 03-3218-2332　FAX 03-3218-2431

日本電能　システムソリューション部
TEL 045-476-0160　FAX 045-476-0169